

みどりの食料システム戦略の消費者への周知

みどりの食料システム戦略について、消費者の理解を深めることを目的に青森県生活協同組合連合会と公開講座を共同で開催

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

青森県拠点では、みどり戦略推進プロジェクトチームを設置し、みどりの食料システム戦略（以下、みどり戦略）の周知活動を重点的に実施しているものの、みどり戦略の認知度はまだ低いことから、消費者の理解や関心を高めることが今後の推進に必要と考えた。

○ 取組の内容

青森県生活協同組合連合会が主催する「第2回食べる・たいせつフォーラム」で公開講座を共催し、消費者に対しみどり戦略の周知を図った。

公開講座の第1部では、東北農政局次長による学習講演を行った。第2部では、青森県内における若い世代の取組として、大学、高校、中学校の学生・生徒が実践報告を行った。

また、公開講座のほかに出展ブースでは、環境負荷低減の取組を「見える化」した農産物の「みえるらべる」を紹介した。

○ 効果・成果、今後の方向性

公開講座には142名の来場者があり、来場者へのアンケートでは「国や行政の取組が理解できた。」「学生の発表がよかった。これからの取組に期待している。」等の感想が寄せられ、みどり戦略について多くの消費者に周知することができた。



公開講座の様子・青森県拠点の出展ブースの様子

体制図

